

「下北線路街」は、小田急線「東北沢駅」～「世田谷代田駅」の地下化に伴い、全長約1.7kmの線路跡地を開発して生まれた新しい“街”です。その街路はたくさんの木々や草花にあふれており、それらの木々や草木の維持管理を行なっているがシモキタ園藝部です。

シモキタ園藝部は、下北沢のまちを中心に、緑が好きな人々によって生まれた地域コミュニティで、植物と人の営みが循環し、心地よく共生するまちづくりを目指しています。

中でも「シモキタのはら広場」はさまざまな植物や虫たちが共生する野生の庭をコンセプトに設計されており、線路だった空き地に種をまくところから始め、近寄りやすい美しい庭ではなく、五感で味わい、子どもたちが虫や植物とのびのびと触れ合える「都会の原っぱ」を目指しています。

今回はシモキタ園藝部のスタッフに「下北線路街」を案内していただき、これからの街の緑のあり方を学びたいと思います。

